

かがやく花々

平和の子ら

学校法人平和学園
平和学園小学校
2016年度 学校だより 第2号
〒253-0031
神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2
Phone 0467-87-1662/ 0131
Fax 0467-87-0411
サイト <http://www.aletheia.ac.jp/s/>

年間聖句 (2016年度)

このようにしてキリストに仕える人は、神に喜ばれ、人々に信頼されます。
ローマの信徒への手紙 14章18節

命の尊さ

校長 橘 明子

つつじの花が色鮮やかに、私たちの目を楽しませてくれています。季節の移り変わりは生活をも変化させる力があるとつくづく感じます。季節感を肌で感じながら、学校生活を送ることが、小さな平和の始まりでもあるのではないかと思います。始業を迎えた学校は、全体的に落ち着いて小学生の表情も明るく、静かな流れの中にも意気込みを感じる毎日です。

4月14日に起きた九州熊本県の地震では地が割れ、山が崩れるという大きな災害でした。土砂にのみこまれた家屋・人、倒壊した家に押しつぶされた尊い命、自然災害の恐ろしさを思います。地震は熊本だけではなく大分県にも被害が出ています。九州から離れた地に住む私たちは、新聞記事、ニュースの映像などでその状況を知ることしかできません。自分の身近な人が、知り合いが被災していることもあります。また、私たちは、命の重み、尊い存在を神さまから教えていただいているひとりですから、何かできることがきっとあるはずです。

今回の九州の地震に対して、小学校の子どもたちは、すぐにわたしたちに何かできることはないか話し合いをし、そして共に生活している友だちに呼びかけ行動を起こしました。心が柔らかい子どもたちは、大人以上に社会で起きている事柄に関心を持ち考えていることに気づかされます。今、世界でも様々な災害や、事件があります。時を同じくして、エクアドルでも地震があり、多くの人の命が失われました。

自然災害は私たちの予想をはるかに超えています。人間の力ではどうすることもできない場合がほとんどかもしれません。だからこそ、日ごろの私たちの生き

方を考え、命の尊さを伝えていきましょう。

今年度のイースター礼拝は、中高の聖書科の菊池結希先生のお話でした。静かな口調で優しいトーンで語る先生の人柄のうしろにイエスさまがしっかりと支えてくださっていることが見えるような気がしました。私たちには見えないイエスさまです。しかし、どんなことがあっても必ず私たちとともに歩いてくださると信じています。その平安の中で日々の学校生活が送られていけますようにと願います。

4月27日は平和学園の70回目の誕生日です。今年度は学園全体で70周年の一年間を過ごしていきます。各行事に記念すべき時として学園からも保護者の皆様へ様々なお知らせをしていきますので、よろしく願いいたします。

